

姉の残した借金のせいで、金持ちおじさんの
乱交オフ会に参加させられる春菜ちゃん

裏AVへの出演がきっかけで
密かな人気に火がついた春菜ちゃん。

残りの借金を返すため、
なんでもありのファンイベントを開くことに…。

基本CG **13**枚
本編 **93**枚

少しエッチで、でも平凡な日常を送っていた私、西連寺春菜。

しかし、ある日突然やってきた男の人が告げたのは、
私のお姉ちゃんがホストに入れ込み、莫大な借金を抱えている
という、信じられない事実でした。



このままでは私のお姉ちゃんは、夜のエッチな店で働いたり、AV女優となつて、何年もかけてお金を返さなければならなくなると聞かされた私は、彼らの出した一つの提案を受け入れることにしたのでした。



それは、今の年齢では本来出ることのできない裏ビデオに出演し、その若さを買ってしてくれる大金持ちの男の人に体を売るというもの…。お姉ちゃんの何年分もの時間と病気になるリスク。それらがすべて、私がビデオに出ることとで補える…。しかも…ただ若いからという理由で…。



だけど春菜ちゃん借金はどうするの？

それで、春菜ちゃんってさ
普段はどんな生活してるの？

どんなんて…普通です…

ニア

カッ！

手が…

朝起きて、お姉ちゃんの朝ごはんの準備をして…
学校に行って…



私は一回だけのつもりでビデオへの出演を承諾し、
処女を失う痛みや恥ずかしさ：
よくわからないクスリによる**圧倒的な快樂地獄**を乗り越えて、
今まで見たこともないような大金を手にしたのです。

おじさんやスタッフの人たちに
数えきれないくらいイカされて、中出しをされました。

止まんない♡ 体が欲しがってる♡♡♡

またイカされる♡♡♡
イっちやう♡♡♡

おお、ますます締め付けてきよるぞこの淫売！
こりや、薬なしでも相当の好きものじゃったな



だけど……

なるほどね、ギャラは受け取って返済に充てることにしたけれども、それでも残りの借金額が大きすぎてとても今のままでは返済できそうにないよ。

……はい

うんうん、まあそうだろうとは思ってたよ。

お姉ちゃんはほとんど連絡がつかないし、お父さんとお母さんには迷惑かけたくないです……。

それに……



もう出ちゃったあのビデオのことも知られたくない？

……はい

なるほどね

まあ俺らも春菜ちゃんの両親がいくら「書類上の」保証人になってるって言っても、無理やり取り立てに行きたくはなかったから、戻ってくれてよかったよ



それで仕事のことだけどもね、
いやあ、本当にちようどいい時に来てくれたよ

え？



前回春菜ちゃんが出てくれたビデオ、金持ち連中に大人気でね

ぜひとも直接会いたいって声が殺到してるんだよ

……そう、ですか……

ガチ処女が嫌がりながらチンポ突っ込まれて、
さらにクスリでイキまくるってのが、ウケたみたいでね
って、そんなことはまあいいか。

とにかく、そういうわけだから
今度春菜ちゃんを主役にしたオフ会を開こうと思ってるんだ



オフ………会？

そう、要するにファンイベントだね。
でも、ただのイベントじゃない。参加者は全員かなりの金持ち。
当然大きなお金がポンポン動く。

春菜ちゃんがもし彼らに気に入られれば、
お姉さんの残りの借金を全部返すのも夢じゃないよ。



全部……じゃあこれで最後にできるってことですか？

もちろんそれは春菜ちゃん次第だし、ヤルことはヤってもらうけどね



やること……そうですよ……

(でも今さら失うものなんてないし、一日だけで全部終わるなら……)

それから少しの間、学校に通いながら
借金取りの人たちと数回の打ち合わせを挟んで、
オフ会が開催されることになりました。

打ち合わせとは言っても、
時間と待ち合わせ場所以外の情報はほとんど聞かされず、



簡単な流れと、お客さんへの注意事項を言われただけで、なにをするのか…
あるいは、させられるのか…何人が参加するのか…、
そんな基本的なことも分からないまま、本番当日を迎えることになったのです。

イベント当日

ざわ(ざ)わ

大変長らくお待たせしました。

それでは本日の主役、西連寺春菜ちゃんが登場です！

打ち合わせ……通りに……

元気よく……

み、みな、さ...んこんにちは.....っ！

彩南高校二年、西連寺春菜です！

今日は、私のために集まってくれてありがとうございます！



ゴリッソ

みなさんに、楽しん...楽しんでもらう...ために、
一生懸命エッチな姿、見せちゃい...ます！

あははは……

それは、まるで晒し者でした。

こんな格好で躍り出た私の前には、お金持ちのテンプレートのように太った男の人が何人もいて……私のひきつった笑顔の挨拶をニヤニヤと笑いながら見えています。

ニヤニヤ

ニヤニヤ



耳まで真っ赤になって恥ずかしがりながら、
こんなことをしている私を見て心底愉快そうに……。

でも、この人たちを愉しませなきゃ……

そうしてお金を稼いで元の生活に戻る……

これも全部ただの悪い夢にするために……今だけは……



それでは、西連寺春菜の
ドスケベオフ会はじめまーす！



(あれ……?)



(この後って、どうなるの……?)

確か説明では、この挨拶が終わった後は
流れに任せればいって言われてたけど……司会の人とかが出てくるんじゃない……



私は焦って周りを見渡しましたが、
そこにいるスタッフの誰もが私の動揺など意に介さず、
ただ黙って自分たちの作業を続けています。

観客の男の人たちは、そんな状況に置かれた私の焦りすらもショーの一つであるかのようになり、相変わらずニヤニヤと気持ち悪く笑うだけでした。

しかし――



いやあ、なかなかいい挨拶じゃったよ西連寺君

あなたは……



何も考えずになくくるっ……

それは忘れもしない……私の初めての撮影にやってきて、
そして私の初めての相手になったあのおじさんでした。
（中略）
出しをされました。



止ま、いやあ、西連寺君がファンイベントをやる^{と聞いてな、}
いてもたってもいられず来てしまったわい。
またイカされる……
イッちゃった……

ほれ、これはとりあえずのお小遣いと
素敵な挨拶へのチップじや



おお、ますます締め付けてきよるぞこの淫売！
こりや、薬なしても相当の好きものじゃったな



何も考えられなくなるっ……!

ぽんと無造作に出されたお金は微かに重く……、あのおじさんやスタッフの人たちにその感触でなんとなく二十万から三十万くらいはあつたぶんにはあるように思いました。

ただこの人たちの前に立って挨拶をしただけで……

このとき私は理解しました。

この人たちは本当に楽しんだ分だけお金を出す。

私が嫌な思いをした分だけ、それはお金に変わって、お姉ちゃんと私の人生を取り戻す糧になるのだと

止だったたら、私がやれることはたったひとつ……

またイカされる♡♡♡
イっちやう♡♡♡

おお、ますます締め付けてきよるぞこの淫売！
こりや、葉なしても相当の好きものじゃったな



き、今日の春菜は……みなさんのおもちちゃです……!!
どうか、私にいつぱい命令してください!

おいおい、西連寺君、そんな頼み方があるかね?
人にもものを頼むときは、もっと股を開いてイヤらしくするものじゃろ?

え……あ、あはは……
そう……ですよね……春菜忘れてましたー

じゃ、じゃあもう一度……



今日は、春菜の穴の奥までじっくり見てくださいます♡
このおじさんにとっても優しく破っていたただいた
開通したて新鮮おまんこです♡♡

えへへ…

フハァ…

……皆さんにいっぱいご奉仕するので、
たくさん命令してください♡♡♡

少し前まで聞いたこともなかったような
下品な言葉が次々と出てきます。

イベントまでに色々勉強しておくようにと
言われた意味がやっとわかりました。

目の前の男の人たちは、
明らかに私のアピールに反応を示し、
中には大きく股間を膨らませている人もいます。



（この人たち……私の体で反応してるんだ……
なんだか変な感じ……）

おやおや、西連寺君、
初っ端からマンコを濡らすとはなかなかサービスがええの

（うそ、私、濡れて……）

!?

やはり君は生まれ持ったの淫売の素質があるの。

ほれ、せっかくじゃしここに居る皆さんに
挨拶代わりのご奉仕でもしてあげなさい

（ご奉仕……仕）

トロー

その言葉にあの日の嫌な記憶が蘇りましたが
私はそれを振り払うかのように首を振り
そして再度精いっぱい自然な笑顔を見せました。

ニラ...

は、はい！

春菜、いっぱいのご奉仕させていただきます！



うっ、ぐっ……

ほれほれ、春菜ちゃん、わしのほうの手が止まっておるぞ

俺のほうももつと

気合い入れてしごいてくれよ

金、ほしいんだろ？

ずびばぜっ……

(二度にこんないっぱい……)

んん

んん

んん

んん

んん

んん





男の人たちは私の周りに集まると、
それぞれが身勝手に私の体へオチンチンを差し出します。

私は前回は経験したこの嫌な臭いに
吐きそうになりながら、必死で全身を使い奉仕をしました。

フリーフリー、出すぞー
春菜ちゃん、全部飲めたらお小遣い上乘せしちゃうからね

(!? 上乘せ……絶対、吐かないようにしないと……)

フツ、フリー、出、出る!

和

和

和





아이고

아이고

아이고

아이고

うげっ、ごぼっ……
(なんて量なの……)

ほう、さすがですな、おたくもアレを使ってるの？

ええ、もちろん。

値は張りますが、さすがに宇宙で流行っている
クスリだけのことはありますな

年甲斐もなくこんなに出してしまいましたわ

ジュルル

ジュル

ジュル

ジュル

ジュル



いやあ、春菜ちゃん。
鼻水みたいに精液垂れても吐かないとはね(笑)

うぐぐっ……凄いで濃さで喉にべったり絡みつく
……鼻にも入って、精液の臭いが全身に入ってくる……)

あり、がとうございます……

じゃあ、次はどの人かな？

え……

ほら、次のも残さず飲み干すんだよ

あ……う……

ぐんぐん

シズ

んんん

うん

ぐんぐん



その後も私は全員のオチンチンを順番に
口の中に突っ込まれて、全員分の精液を胃の中に収めました。

何度も押し寄せてくる吐き気と、

こんな気持ちの悪いものが身体に吸収される感覚。

でも、ここで彼らを満足させればその分だけ後が楽になる…。
それにお金も……。

積みあがったお金もかなりの額になり、
そのことだけが私の唯一の希望でした。

うぷっ……みなさん……ありがとうございます……とうとういきました。
みなさんの……美味しくて、濃いミルク……

いっぱい、飲めて……うれしい……です……。



はあはあ……

あの、他の方も……よかったらどうぞ……

息も絶え絶えになりながら私が言おうと、一人の男の人が手を上げ、ねちやねちやと粘度の高い唾液交じりの声で私に何かを聞いてきました。



あー、君、そんなことよりあれだ、君はあっち穴の経験はあるのかね？

あっち………？

あっちと言ったたら君、アレに決まってるだろ

アナルだよ

イ

アナル………って、お尻の………!!?
む、無理ですそんなの………

ほう、これでもかい？



そう言って差し出されたお札の束は、
ぱっと見でいくらかあるのかわからないくらいのものでした。

これだけあれば……
でも、出すための穴に……あんなものを挿れるなんて……

なあに心配はいらんよ。若い娘の穴を傷つけるような真似はせずに、
わしに任せなさい



お金……お金……お金が……必要……

……お願いします

いいぞ、春菜君、もっと足を開きなさい
そうだ、尻を開いてわしらに見せつける

カッ

ほほお、春菜ちゃんは
アナルもなかなかきれいですなあ

カッ

もしかしてこうなることを見越して、
きちんと洗ってきたのかな

うう……

(いくらやらなきゃいけないからってこんな惨めな格好……)



いいから早く……挿れてください……

まあそう焦ってはいかんよ。

いきなりわしのデカマラをねじ込んではこのきれいな穴をダメにしてしまうからの

共用品はみんなで愉しまんと



ほれ春菜君、ちよつと冷たいかもしれんぞ

え……な、なにっ…

お尻になにか変なことされてる……？

ム…

ム…

ム…

よくわからないけど
生暖かいものが入って……まさか



ま、待っててください！
これ、なにしてるんですか？

なにっ？君、穴の掃除に決まってるだろ？

掃…除…!!?

ムッ？

ムッ？

まずは中をきれいにしとかんと。
ほれ、全部入ったぞい

待って！ ひぐっ、それだけは…せめてトイレに



あ…

気にせんでええぞ、
ちやーんとカメラも回しておるからの

もう…

ダメ…

あああ、ダメ！
我慢できない…やだ、こんなやつ、絶対
ひっ、あっ…ああ…



やっ…

やっ…



おやおや、きれいなものじゃの
昨日はわしらに会うのが楽しみで飯が喉を通らんかったんか？

ははは

もう……イヤ……

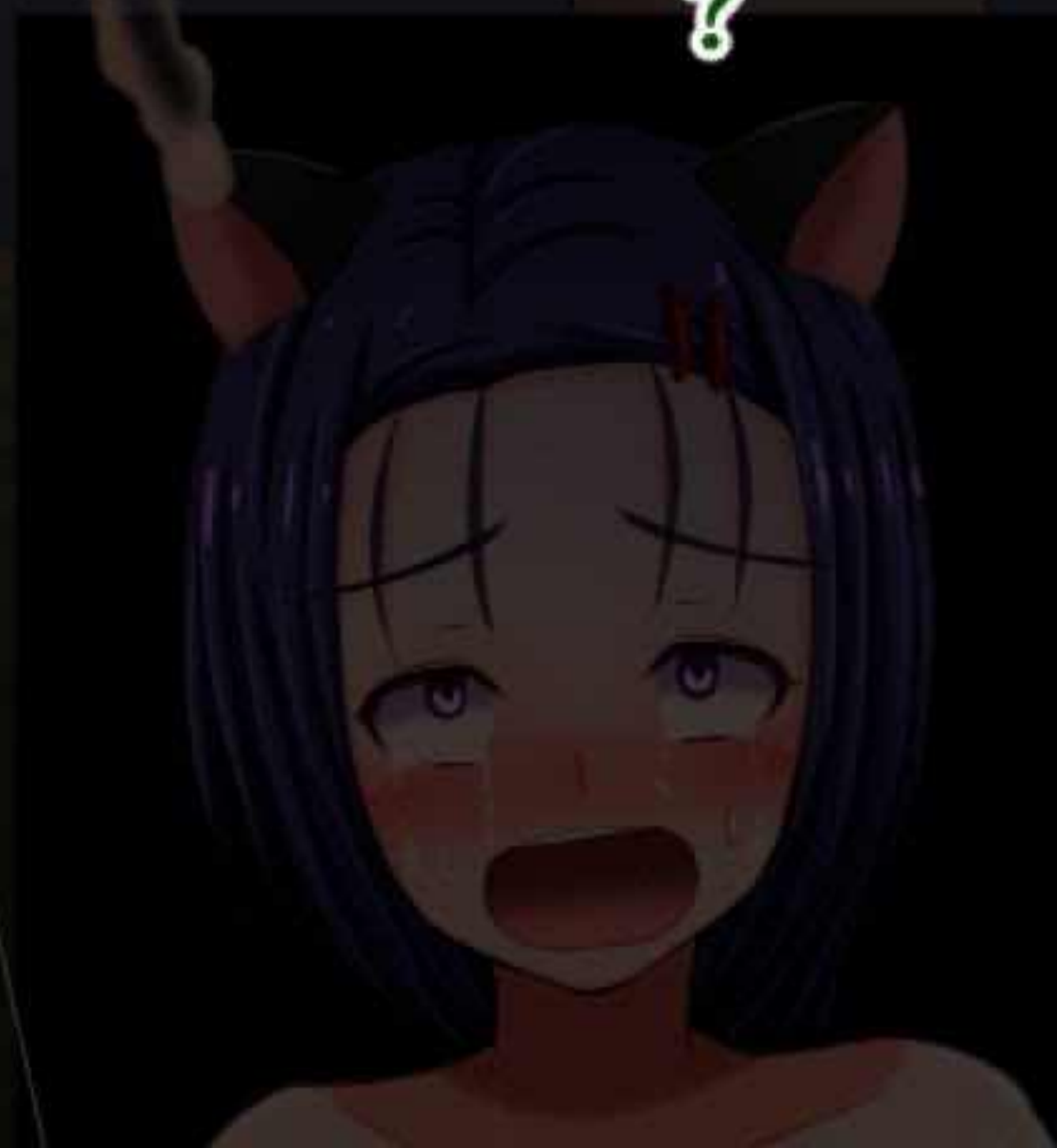
（私……どンドン汚れてく……なんのために、こんなこと……）

じゃきれいになったところで、

本番に向けた準備運動じゃ

!?

ほれ、こっちにきて尻を上げなさい



《今度はなにされるの……?》

いやあ、もったいないと思っておったんじや
こんなにかわいい猫耳がついておるのに、
パンツを脱いだら尻尾がなくなっ
てしまったんじやからの

それは…下着に付けるタイプだったので……



そうじゃろ？

だから新しい尻尾を着けてやろうかと思っ

ひっ

ほれ、初心者にも優しいサイズじゃ。

特別に君にプレゼントしてやるからの

あ……あ……やだ、待って！

こら、動くでない。

いきなりこれより太いマラを
突っ込まれたいか？

ほれいくぞ





アハハ

アハハ

アハハ

アハハ

おお、いい感じじゃ。このまま上下にこすり上げて
どんな肉棒も飲み込む立派なコキ穴にしてやるわい

あああああ、これダメえええ!!!
来る!!! きちやうとうとう!!!





お、ケツ穴でイッたんか？

初めてでこれほど感じる女は見たことがないわ

……ひーひー

まあよい、では払った金の分だけ
愉しませてもらうぞい



はあはあ……ほんとに……
挿れられる……の……？

ほれ、ちゃんと力を抜くんじゃぞ
抵抗すると裂けてしまふかもしれんからの

……

好きな男のイチモツだとでも思って
包むように受け入れるんじや

ムッ

ムッ……



おどろ

こんなのが結城君のなんて思えるわけ……

ほれ、挿れるぞ！





（なにこれ……すごい……異物感……
お尻の穴、無理やりこじ開けて……入ってくる）

おし、なかなかいい穴じゃ

わしのマラをすんなり受け入れるとは、
本当に初めてか？

初めてに……決まって……ます……

早く、終わらせて……

ムッ

ムム

なら、少々乱暴に動かすぞ

!?



ひぎいらいらい!!

（なにこれ……アレが出たり入ったりしてるみたい、
ねじ込まれて抜かれるごとに、お腹の中全部持ってかれる!!）

やだ、抜いてええ!!

助けて結城くっ……んん!

とうとうケツ穴突かれながら
男の名まで呼びおっただぞこいつ（笑）

わしがそんな男忘れさせてやるわ、
わしの射精をケツで受け止める!





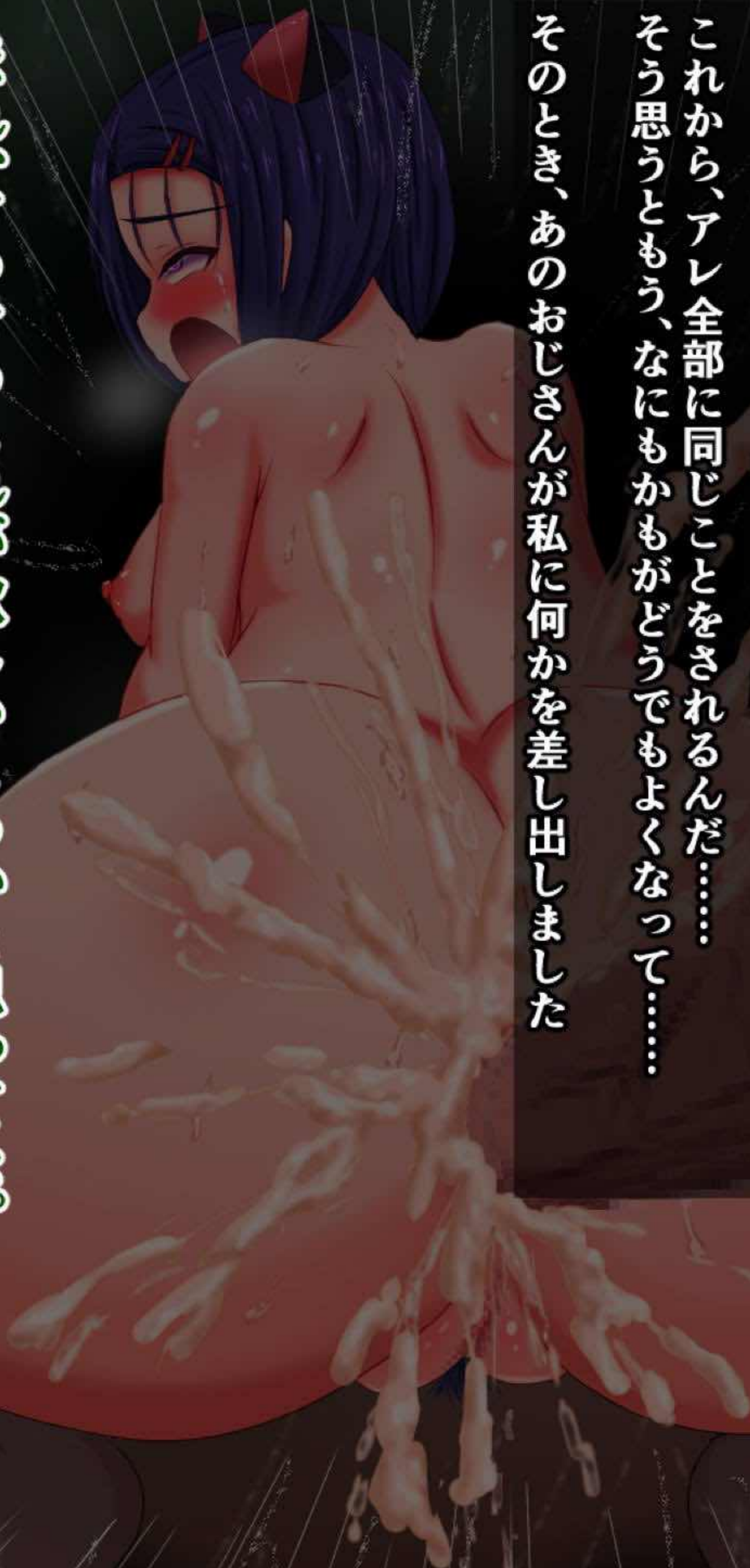
お尻の中に生暖かいなにかが注ぎ込まれる感覚……
もう昔の自分には戻れないと悟った瞬間でした。

でも、周りにはまだまだたくさんの男の人たちがいて、
呆然としている私を見て、ますますアレを大きくしています。

これから、アレ全部に同じことをされるんだ……
そう思うともう、なにもかもがどうでもよくなって……

そのとき、あのおじさんが私に何かを差し出しました

ほれ、そろそろこれが欲しいころかと思ってな。



それは……

宇宙産の特製媚薬じゃよ
一発打てば快楽の虜じゃ

わしとのセックスで経験済みじゃる



……くださる

物

物

物

物

物

物

物

物

物

物

おら、淫乱女！ どうだ金で買われてマンコ突き上げられる気分は!?

あーっ♡ しゃら♡♡♡
チンポチンポ気持ちいい♡♡♡

カ
♡

カ
♡

チンポ
♡

カ
♡

カ
♡

カ
♡

あのおじさんの持ってきたクスリを注射した瞬間、曇っていた私の心がぱっと晴れて視界が凄くクリアになりました。



あんなに醜いものに見えていた男の人たちのアレが、
凄く魅力的に思えて、乱暴にそれを突っ込まれた瞬間、
何とも言えない快感が押し寄せます。

アッ

あッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

もつと、もつと、奥、
奥、パンパンしてえええ♡♡♡

結城君のことも世間体も忘れて、
ただただチンポとマンコをこすり合わせて、
獣のように乱れました。

イグググググググ!!!

イグググググググ!!!

イグググググググ!!!

イグググググググ!!!

イグググググググ!!!

イグググググググ!!!

イグググググググ!!!

イグググググググ!!!





あっ、あああ♡♡♡

チンポ、チンポオオオ♡♡♡

わぁい

わぁ

その後も彼らは私に対し
色んな事を要求してきました。

ですが、もうそんなことはどうでもよくて
ただひたすら波のように押し寄せる
快楽を享受するだけ…。

わぁ
わぁ
わぁ

わぁ

わぁ
わぁ
わぁ

わぁ
わぁ
わぁ

わぁ
わぁ
わぁ



目の前には見る間にお金の山ができて、お姉ちゃんが残した莫大な借金の返済までもう一息…。

これならできる、バカみたいに腰を振って、下品な声を上げてチンポを啜えてささえいれば…。

そう思ったそのとき、あのおじさんが声をかけてきました。



さて、ではそろそろ最後の命令にいくどうかの
これが終われば晴れて全額返済じゃぞ

やるかね？ 西連寺君

やります！！

チンポ

チンポ

なんでもやりまふ！ アナルでもマンコでもお口でも！
チンポの奴隷になります！♡♡♡

なんでもやるか、それはよかった。
では、そうじゃのお



西連寺君が楽しそうにわしらと戯れとる写真を
クラスメイトに送るといふのはどうじゃろうか

え………

それは面白い、では早速彼女の携帯から送信先を選びますか

しかしアドレス帳を見ても
これじゃ誰がクラスメイトだかわかりませんな

え………

ま………待って

え？

履歴で一番最近連絡を取った人間を調べて
アドレス帳で探せばええじゃろ

ほお、さすがですな。

えーなるほど……そうになると、これなんかいいのでは？

ふむ、確かに……

ま、待っててくださいー!!!

んー、どうしたんじや西連寺君?

あ、あの、わたし、他のことならなんでもしますから
他の人に見せるのだけは……

待っ……!!

さっきなんでもすると言ったじゃろ?

今更になってそれは通らんよ

わっ……
わっ……



だ、だったらここでやめます！
あとの借金はなんとかかして……

少なくなつたとはいえ普通のサラリーマンなら
自己破産を視野に入れる額じゃぞ？
周りにバレずに完済できるとでも思っておるんか？

あ……

あ……あ……そんな……

んー？ 見つからんのお……アドレス帳と登録名が違うんか？

うん……

「や行」で探してみたらどうじゃ？

や、ゆ……おー、あったあった、これじゃな

「ゆ」……「ゆ」……「ゆ」……ってまさか……
ゆう……き……くん……?」

やめて、お願いだから！ せめて別の人に——！！

あ……

あ……

やめ……

はは、別の人ときおったか、これは当たり前だったみたいじゃの
どんな反応が返ってくるか楽しみじゃ

そうだ、私、奴隷になります！
あなたのオチンチンいつでも啜えます！

オマンコもお尻も自由に使っていていいです！
一生尽くします！ だから——

ほう、それは魅力的な提案じゃ
でも残念じゃの

ハア……

ハア……



もう送ってしもうたわ

From: 西連寺春菜
To: 唯
題名 なし
添付ファイル





あ...あ...あ...結城君じゃ、ない...?

あはは...

アア...

アア...

アア...

アア...アア...

その後のことはよく覚えていません。

だけど、クラススメイトであり大事な友達でもある唯に私の写真を送られたことよりも送信先が結城君でなかったことへの安堵感のほうが強かったのは事実です。

そしてそれから数時間後……。

ふう、いやあ出した出した
これでしばらくは打ち止めじゃ……

ハア……

ハア……

ハア……

クスリによって強化された異常な性欲による乱交は
数時間の後に終わりを迎え、後には山とまって積まれたお金と
汚れた自分の体だけが残り……

ハア……

いやあこれで借金は全額返済じゃの。
わしも嬉しいわい

ところで西連寺君。

完済を祝して、君にビデオレターが届いておるぞ？

え...？

ビデオレター.....？

ほれ、これじゃよ



.....え、なに.....?これは.....

やつほー春菜、元気ー?

お姉ちゃん……!!?

ごめんねー、私の借金春菜が返してくれたんでしょ？
ちよー感謝してる、ありがとね♡

シク

シク

シク

シク

（ありがとぅ……って、なんでそんな……軽く）

そうそう、それでね、ついでと言ったらあれなんだけどもさー

ムチッ…

追加の借金も返しといてくれないかな(笑)?

シク

は……?!

シク

私、病気になるっちゃったんだー、チンポ依存症(笑)

ハア

♡

ハア

それで、とっても高い宇宙産のオクスリ
いっぱい買ったの♪

シク

ってわけだから、春菜、あとよろしくね!





というわけじゃから西連寺君、
残りの返済方法について軽く説明しようかの

.....そんな.....
私、いったいなんのために.....

とりあえず学校はやめてもらって、まずはわしらの相手じゃな。
誕生日が来たらAV、風俗。使えなくなったら見世物小屋か、実験施設にでも――

ちよつと待ちなさい！



そのとき響いた声は、中年の、だけど妙に高い……
どこかで聞き覚えのあるもので……

その子の借金、わしが全部引き受けますぞ

ちよ、ちよっと困りますよ部外者が勝手に入ったら！

?

部外者……？

じゃったら、君のところにはもうクスリを回してやらんぞ

え……？



ば、馬鹿もん！ 失礼な口を聞くな！

大変失礼しました。



校長先生

校長……先生……？



それから私は、突然現れた校長先生に促されるままシャワーを浴びて服を着、車に乗せられてその場を後にしました。



シャワー



実感は湧きませんが、知らないうちにできていた新たな借金は、先生のたった一言でなかったことになってしまったみたいなんです。だけど、それはもちろん本当の意味でなくなっただけではありません……。

数日後

いやあ、それにしても大変でしたな西連寺君

……はい、あの……ありがとうございました……



その様子だと、わかっておるようですね？
わしが、タダの正義感から君のことを助けたわけではないと

しかし安心しなさい、
わしはあの男たちの言ったようなひどいことはしませんぞ
ただ一つ、昔からの夢を君に叶えて欲しいのです

夢……ですか……？

そう、それは……



我が校を口ヶ地にして、



アダルトビデオを

つくることですぞぞぞ！

こうして、やっとの思いで借金を返し終えた私の人生は
また新たな局面を迎えたのです。

to be continued...